

ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「活動を通じ、みんながつながる社会を」

ダイレックスの収集に、キリンビバレッジ、湖池屋、日清食品の3社が協力



児童が持っているのは集まったマークの点数が記されたパネル。後列左から5番目がダイレックスの五味肇社長

九州を中心にディスカウントストアを展開するダイレックス(本部・佐賀市)と、協賛会社のキリンビバレッジ(ベルマーク番号54)、湖池屋(同77)、日清食品(同35)が協力してベルマーク約19万7千点を集め、佐賀市内の小学校に寄贈しました。贈呈式が10月29日にあり、市内の小学校を代表して市立鍋島小学校の6年生の児童がマークを受け取りました。

寄贈されたベルマークは昨年11～12月に実施した「ベルマークで応募! 家族でHAPPYキャンペーン」で集まったものです。ダイレックスでキリンビバレッジ、湖池屋、日清食品の商品を購入し、ベルマークを集めてハガキに貼って送ると、抽選で賞品が当たる企画でした。

寄贈式には、キリンビバレッジの葉山雄介・執行役員西日本統括本部長、日清食品の松井隆行・九州支店長、湖池屋の

福島恒晴・九州支店長らが参加。ダイレックスの五味肇社長が「人口が減少していく中で、企業や行政だけでなく、社会活動を通じてみんながつながる社会になれば」と挨拶しました。

このキャンペーンは2019年、ダイレックスとキリンビバレッジの2社が初めて実施しました。2021年の第2弾からは湖池屋が、第3弾からは日清食品も参加し、今回で5回目です。今回

は前年よりも応募は20%、点数も16%増となりました。

4企業が団結して
集めてくれました!!



復興を願う子どもたちへ／病院内での学びのために

能登半島地震被災地の28校、3院内学級に支援

2024年1月1日に最大震度7の揺れを観測した能登半島地震の発生から、まもなく丸2年になります。財団は能登地方の小・中学校28校への2回目の支援として、560万円相当の備品・教材を贈ります。

1回目の支援を終えた今年9月、財団職員が被災地の学校を訪問し、支援品が活用されている様子を財団ホームページで紹介しました。仮設校舎で学ぶ子どもたちがいる現状、地域の復興を強く願っている子どもたちが大勢いることが分かったほか、現地のいたるところで家屋の解体や道路の通行止めが見受けられたことから、支援を継続することに決めました。

今回の支援先は、前回と同じように石川県輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の計28校。各校が希望する備品・

教材を届けます。



毎年実施している院内学級支援の2025年度対象校も決まりました。院内学級は、病気やケガで入院しなければならない子どもたちが学ぶため、病院内に設置されている学級のことです。今年度は宮城、石川、長崎の各県にある3学級に、それぞれの学級が希望する備品・教材を贈ります。

なお、今年度も例年通り、日本人学校への支援を実施します。現在手配を進めているところです。支援先が決まり次第、改めてお知らせします。

能登半島地震被災地、院内学級の支援先は右の通りです。

【能登半島地震被災地】

輪島市(6校)

河井小・大屋小・鳳至小・鶴巣小・河原田小・三井小(6小学校仮設校舎で支援単位1校)、町野小、門前東小・門前西小(2小学校仮設校舎で支援単位1校)、輪島中、東陽中、門前中

珠洲市(11校)

上戸小、飯田小、直小、若山小、正院小、蛸島小、みさき小、緑丘中、三崎中、宝立小中、大谷小中

能登町(8校)

宇出津小、鶴川小、柳田小、松波小、小木小、柳田中、松波中、能都中

穴水町(3校)

向洋小、穴水小、穴水中

【院内学級】

宮城県 山元支援学校あすなろ学級(病弱) <国立病院機構宮城病院>▽石川県 錦城特別支援学校<国立病院機構石川病院>▽長崎県 大村特別支援学校<長崎県精神医療センター>